



久保田 由美 中橋 弥里

若葉いこいの家・よりみちの家

広げよう人の和・地域の輪



大人と子どもが賑やかに遊ぶ若葉いこいの家

「ふれあいサロン」という言葉を耳にされたことはありますか。最近、昔のような密接な近所付き合いも薄らいできています。「ふれあいサロン」は、地域の中でお互いに交流を深め、いきいきと暮らせるようにと設けられた、地域住民が自由に立ち寄ることのできる施設です。

今回は、町内に2軒あるふれあいサロン、「若葉いこいの家」と「よりみちの家」を訪ねました。

町内のニュータウンの中には、開発から30年以上が経過した地域もあり、高齢化が進み一人世帯も増えています。身近なところにある交流の場があればという地域住民の要望が、町内のふれあいサロン開設へ

町内のサロン活動

も居場所づくりであるだけでなく、地域の一員としての自覚を持つきっかけとなり、地域全体で子どもを見守り育てていく拠点ともなります。人と人との絆を広げ、地域のつながりを深めることは、誰もが住みなれた場所を支えたい、安心して暮らすための大きな力となります。

ふれあいサロンの役割

少子高齢化・核家族化が進む中、住民が自主的・主体的に企画・運営するふれあいサロン活動は、地域福祉活動の一環として全国的にも推進されています。サロンには住民間の情報交換の場として、また高齢者から子どもまでのあらゆる世代の世代間交流の場としての役割が期待されています。

のきっかけとなりました。空き店舗を利用し、自治会や老人会が中心となって自主運営するサロンを、町社会福祉協議会が家賃補助をするという形で支援し、現在、2軒のサロンが開設されています。まず、平成16年5月若葉地区に「若葉いこいの家」が、そして翌17年5月には、松尾台地区に「よりみちの家」がオープンしました。両サロンとも、まだ立ち寄ったことのない住民の皆さんにも利用を呼びかけ、さまざまなイベントを行っています。また活動の主旨に賛同して手伝ってくれる人や、趣味や特技を教えてくれるボランティアを地域から募っています。

世代を超えた社交場・若葉いこいの家(若葉地区)

輪になって談笑する参加者
明るい外観



幅広い世代の人達で賑わう「若葉いこいの家」。現在、3年目のサロンは一日平均約25人が利用する世代間交流の場になっています。ここでは、輪投げ・卓球・ゲームなどで子ども達が自由に遊ぶことができます。大人はその様子を温かく見守り、時には将棋や碁などを教えたり、一緒に遊んだりします。一方、あいさつをすることや、ゴミをきちんと捨てるなど、マナーやルールも子ども達に教えています。

サロンには、若葉の自治会・熟年クラブ・福祉委員からなるボランティアスタッフが交代で常駐しています。室内にある大きなダイニングテーブル・ソファ・パソコン・手作り卓球台などの設備は全て参加者からの寄贈によるものです。もっと地域の人達にここを知ってもらおうと、写真展や子ども映画会といったイベントも開催しました。ボランティアスタッフの杉原慧悟さんは「月1回の当番を含め、月の半分はここを利用しています。人生経験豊富な人が多く、いろんな話が聞けます。また、子ども達とゲーム遊びをするのも楽しいですね」と語られました。

若葉いこいの家代表

北村博信さんのお話

サロンは、参加したい人が自主的に集まる場所です。参加者一人ひとりが考え、意見や知恵を出し合っ、サロンを活性化していかなければなりません。

また、子ども達にとっては「子どもを守る110番のおうち」のような、何かあった時に飛び込んで行ける、安全で安心できる場になればと思います。



取材でうかがった2つのふれあいサロン。どちらも参加者の笑顔があふれる居心地の良い場所でした。そこに行く、話し合える仲間がいて、温かいふれあいがある、サロンは住民にとって心やすらぐ存在だと感じました。夏休み真っ最中。新しい出会いを求めて、お友達を誘って行ってみたいと思います。

後編集
「いながわ特派員」

気軽に仲間づくり・よりみちの家(松尾台地区)

参加者
看板が目印
手作りを共に楽しむ



誰でも気軽に立ち寄れる場になるようにとの願いを込めて名付けられた「よりみちの家」。週2回の開館日には、高齢者や女性を中心に一日平均約15人が利用し、塾の行き帰りに立ち寄る小学生もいます。ここを運営するのは、松尾台地区のボランティアスタッフの人達で、いつも参加者を笑顔で出迎えます。

6月26日、ぐずついた梅雨空の下、サロンに集っていたのは6人の女性達。お茶を飲みながらクラフト作りやオセロゲームを和気あいあいと楽しんでいました。室内には、牛乳パック・ペットボトルの蓋・チラシなどで作ったさまざまなサイクル手作り品が飾られています。これらは、参加者同士が得意な手作りを教え合って作ったもの。

週1回参加している91歳の堀敏子さんは、「お話をしたり、手芸をしたり、とても楽しいです。猪名川町に移り住んで8

年程ですが、サロンに来て友達がたくさんできました」といきいきと語られました。

よりみちの家では、グループやサークルなどに2階の個室の部屋貸しも行っています。

よりみちの家代表・合田共行さんのお話



松尾台だけでなく、他の地域の人もよりみちの家を利用してください。このサロンのような交流の場が町内にもっと増えてほしいと思います。

今後は、楽しい場というだけでなく、さまざまな情報を提供したり相談に乗るといった、身近な窓口のような役割ができればと考えています。